

<報道発表資料>

.....
カテゴリー:お知らせ

令和8年3月3日

下水道管路マネジメントの共同研究に関する協定を締結します

埼玉県下水道局は、下水道管路に起因する陥没事故の再発防止に向け、管路の点検・調査から補修・管理までの維持管理プロセス全工程の最適化を目的とした共同研究を全国に先駆けて行うため、DX技術（ドローン、AI、GIS等）や補修技術を有する事業者と共同研究に関する協定を締結します。

● 日時

令和8年3月10日（火曜日）10時30分から11時00分

● 場所

庁議室

● 協定締結先・締結式出席者

NTT東日本株式会社 執行役員 埼玉事業部長兼埼玉支店長 小池 哲哉 様
株式会社NTT e-Drone Technology 代表取締役社長 滝澤 正宏 様
NTTインフラネット株式会社 関信越事業部長 出原 克也 様
国際航業株式会社 代表取締役社長 藤原 協 様
株式会社染めQテクノロジー 代表取締役社長 菱木 貞夫 様
日特建設株式会社 代表取締役社長 和田 康夫 様
公益財団法人埼玉県下水道公社 理事長 武井 裕之 様
埼玉県知事 大野 元裕

● 協定の名称

下水道管路マネジメントシステムの共同研究に関する協定

● 協定の概要

埼玉県の下水道管路の点検調査から補修に至る管路全体のマネジメントに係る課題解決をシームレスに図るため、下水道DX（ドローン、AI、GIS等）及び補修技術を活用した新たな維持管理手法の検証を共同で実施する。従来手法では、点検・調査、補修が困難であった箇所に対して、最新技術を活用することで、安心・安全・効率化を実現し維持管理手法の抜本的な改善を図り、将来的には県内流域全体を対象とした新しい維持管理モデルの構築を目指す。